

人間に威信を！ 国際ロータリー会長のメッセージ

The President's Message

ロータリアン諸君：

われわれは、同一の方向を目差す共通の理想を持っています—私共自身の考えに基づいて。

われわれは、受諾と同意によってロータリーに参加しました—私共自身の意志によって。

われわれは、多種多様の活動をしています。個人の活動もあれば団体活動もあります。通例は地元での活動ですが、広範囲に及ぶ場合もあります。その目標は、人と人、民族と民族、国民と国民の間の偏見を取り去り、理解を促進して、創造性のある生活と平和な環境を打ち建てることにあります—これは私共の行動によるものです。

今日の世界には、四方八方から吹きまくる旋風の渦に巻き込まれているさまざまな思想があり、勝手気儘な考え方や、破壊的勢力によってかもし出されるさまざまな行動があります。

疑いもなく、私共の時代は困難な時代です。人類の生活に対する脅威は日増しに圧倒的になっています。そして、今や全人類が危険にさらされ、危急存亡の瀬戸際に立っています。

この挑戦に対して、われわれは、良心と責任ある指導力を結集してこれに当らなければなりません。われわれは、皆この挑戦に巻き込まれているのであります。われわれは、この挑戦を受ける社会構造の一部なので、われわれは、もっと積極的に邁進しなければなりません。

あなたはロータリーです。あなたのクラブもロータリーです。国際ロータリーもまたロータリーなのです。それ故に、われわれは、時と処を問わず、ロータリアンとしての姿勢を確立しようとするとき、またロータリーが一つの事柄を成し遂げようとするとき、常に一体であり、そして考え方においても一体であるべきです。

人間はすべての中心であり、その尺度なのです。組織が人間に価値を与えるのではなくて、人間が組織に価値を与えるのです。われわれの組織、ロータリーという団体は、この上ともその価値を高めることをわれわれに期待しています。

あらゆる面において人間の威信を重んずること—即ちその人権を尊重し、仕事上および教養面における業績を尊重し、そして知性と精神的価値を尊重することは、善意に導く確実な道であり、われわれが待望してやまない各人、各民族および各国国民間の理解に導く確実な道、即ち平和への道なのであります。

敬 具





エルネスト・インパッサイ・デ・メロ
ニテロイ・ロータリー・クラブ
ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ
1975-76年度 国際ロータリー会長

わがロータリーの友よ：

われわれのプログラムは、ロータリーのプログラムです。

このプログラムは、研究を促し、やる気を起こさせ、想像力への視界を開き、それによって、ロータリアンを総動員して行動に立ちあがらせようとするものです。

今日の困難な時期に際して、われわれは、次のように行動を強化しなければなりません：

1. われわれのクラブが、友情、親睦によって団結を固め、活動的かつ友好的であることによって地域社会において真に威信ある地位を保つよう、各自その分を尽すこと。
2. われわれの行動の尊さをはっきり示すために、それぞれの実業人または専門職業人としての活動を捧げること。また、われわれの生活の質の向上をはかるために、われわれの知識を活用すること。
3. 個人として、あるいはクラブのプログラムに参加することによって、または既存の諸機関を援助することによって、地域社会のための仕事とサービスに協力すること。
4. 断乎として、子供と若人、特に保護者のいない、よるべきこれらの人達のために骨を折って、かれらが食物と書物を与えられ、そして人間として品位ある将来を期待し得るようにつとめること。そして、インターアクト、ローターアクトその他の青少年プログラムに関与すること。
5. 国民として、自国のために献身すること。同時に、他のすべての国民を尊重することは世界市民の構想への希望につながることを忘れないこと。
6. ロータリー財団に協力し、世界社会奉仕、国際青少年交換、国際学生交換、およびその他の、人と人、民族と民族および国民と国民の間の相互知識とより良き理解を推進するあらゆるプログラムに協力すること。